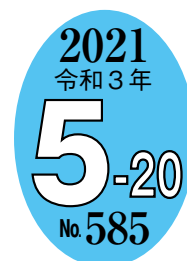




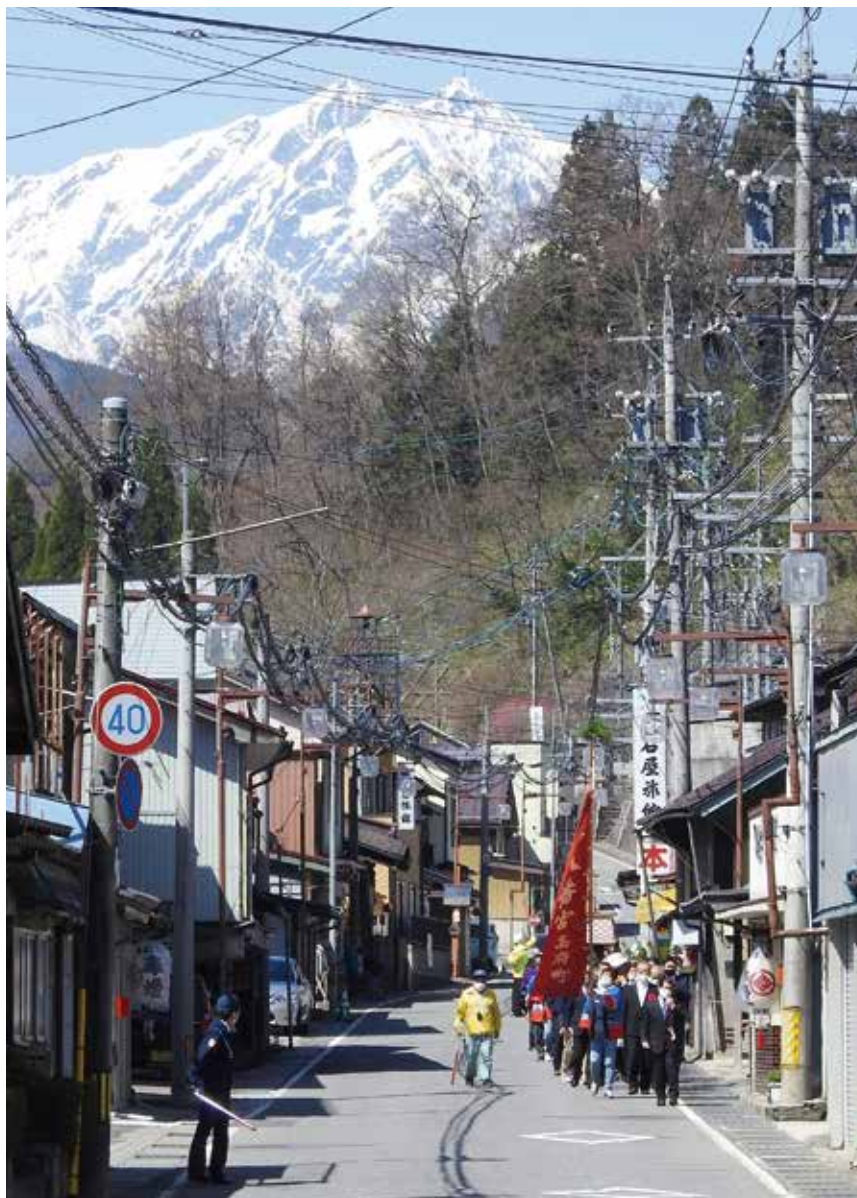
地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空) は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

月例調査レポート



小川村 春の例祭

気高い山々の眺望が見事な山里の村。
昭和の時代にタイムスリップしたような
商店街の中を、春祭りの行列が静かに進
んでいきます。
街道随一といわれるこの神社の祭りです
が、コロナ禍では新様式で粛々と執り行
われていました。
いつになったら賑やかな祭り風景に戻れ
るのか、知っているのは遠い鹿島のお山
の神様だけでしょうか。

- 長野しんきん
月例調査レポート…………… 2
- 企業アンケート
「新型コロナウイルス
感染症」の影響 ② …… 6
- インタビュー
変革期の経営ビジョン…………… 8
- 北信濃 江戸時代の風景 (81) …… 10
善光寺境内

「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラー
にてご覧いただけます [長野信用金庫 すかい](#)



生産は8カ月ぶりの低下 前年同月比は2カ月ぶりの上昇

◇2021年2月の長野県鉱工業指数

(速報：季節調整済指数)

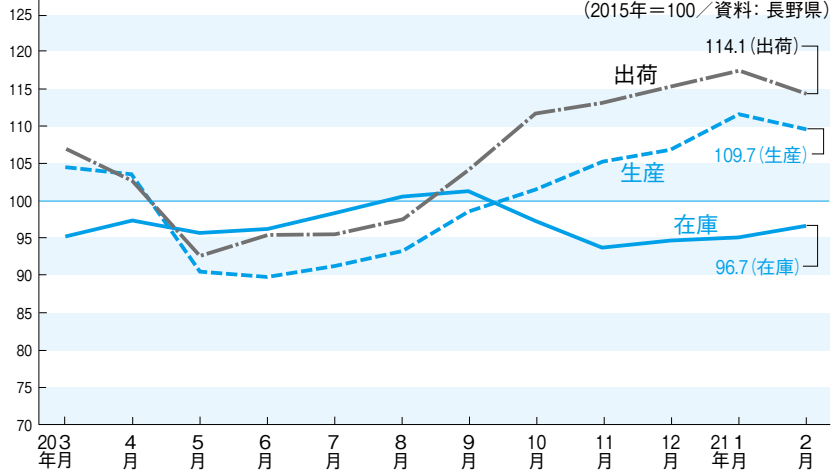
生産は109.7(前月比▲1.3%)で8カ月ぶりの低下、出荷は114.1(同▲2.5%)で9カ月ぶりの低下、在庫は96.7(同+1.8%)で3カ月連続の上昇となりました。

◇前年同月比(原指数)

生産は104.8(前年同月比+2.6%)で2カ月ぶりの上昇、出荷は110.6(同+0.5%)で2カ月ぶりの上昇、在庫は98.9(同+0.4%)で16カ月ぶりの上昇となりました。

●長野県鉱工業の生産・出荷・在庫指数(季節調整済)の推移

(2015年=100/資料：長野県)



[生産] 上昇…電気機械、はん用・生産用・業務用機械、食料品など9業種

低下…情報通信機械、電子部品・デバイス、輸送機械など8業種

[出荷] 上昇…はん用・生産用・業務用機械、金属製品、窯業・土石製品など7業種

低下…情報通信機械、電子部品・デバイス、輸送機械など10業種

[在庫] 上昇…電気機械、情報通信機械、その他など10業種

低下…電子部品・デバイス、プラスチック製品、窯業・土石製品など6業種

月例調査

全産業の「売上高」は増加

前回調査 2021年2月

◇4月調査による[北信地区の経済状況]

全産業(不動産業・旅館業除く)の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(31%)

が5ポイント増加、「減少」割合(39%)が9ポイント減少、「不変」割合(30%)は4ポイント増加、全体としては増加の状況です。

●売上高(生産高・施工高)前年比「増加・不変・減少」割合

矢印は前回調査比 (3ポイント以上の動き) ↑ 増加 → 不変 ↓ 減少
改善 不変 悪化

全産業 (不動産業・旅館業を除く)	前回			今回	前回調査比 (3ポイント以上の動き)	改善 不変 悪化	回収率 (30人未満 30人以上)
	26.2	→	25.6	→	48.2	↑	195社(回収率82.6%) 30人未満 74.9% 30人以上 25.1%
	増加	↑	不変	↑	減少	↓	204社(回収率86.8%) 30人未満 72.5% 30人以上 27.5%
製造業	32.9	→	25.7	↑	41.4	↓	70社(回収率83.3%) 30人未満 62.9% 30人以上 37.1%
建設業	33.9	→	29.0	↓	37.1	↑	62社(回収率87.3%) 30人未満 88.7% 30人以上 11.3%
卸小売業	27.3	↑	40.9	↑	31.8	↓	44社(回収率84.6%) 30人未満 79.5% 30人以上 20.5%
サービス業	50.0	↑	25.0	→	25.0	↓	8社(回収率88.9%) 30人未満 87.5% 30人以上 12.5%
輸送業	10.0	→	40.0	↑	50.0	↓	10社(回収率100.0%) 30人未満 20.0% 30人以上 80.0%
外食業	20.0	↑	10.0	↑	70.0	↓	10社(回収率100.0%) 30人未満 50.0% 30人以上 50.0%

製造業

食料品、金属加工品、一般機械、電気機械、自動車部品、精密機械

「生産高」一般機械・電気機械が減少するも、全体は増加

製造業の生産高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(33%)が2割増加、「減少」割合(41%)が11割減少、「不変」割合(26%)が9割増加で、全体としては増加の状況です。

●生産高前年比「増加・減少」割合(%)

製造業	前回	30.8	16.9	52.3
	今回	増加 32.9	不変 25.7	減少 41.4
食料品		37.5	18.7	43.8
金属加工		30.8	23.0	46.2
一般機械		0.0	55.6	44.4
電気機械		40.0	20.0	40.0
自動車部品		20.0	40.0	40.0
精密機械		57.1	28.6	14.3

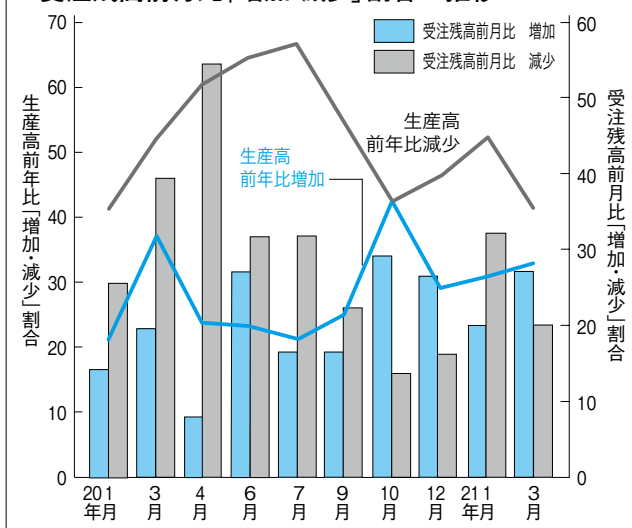
【業種別】 増加…食料品・金属加工・自動車部品・精密機械
減少…一般機械・電気機械

【機械稼働】 (前回比) 稼働率 上昇
上昇割合 (16%) → 29%
下降割合 (36%) → 12%

【受注状況】 受注量 (前回比) 上昇
増加割合 (20%) → 27%
減少割合 (32%) → 20%
受注残高 (1.4ヵ月) → 1.6ヵ月

【受注基調】 (前回比) 上昇
上昇割合 (22%) → 30%
下降割合 (31%) → 19%

●生産高前年比「増加・減少」割合と受注残高前月比「増加・減少」割合の推移(％/資料:当金庫)



企業からのコメント

☆昨年はコロナ禍で“巣ごもり消費”が始まり、すごい勢いで売上が伸びた。今年は乾麺などの買いだめはないが安定している。(戸隠そば)

☆★通信販売は好調で、今後は雑誌・新聞等へのキャンペーン広告を予定している。しかし観光関連の売上は低調のため、土産やギフトよりも家庭用商品の販売に注力する予定である。(味噌・漬物)

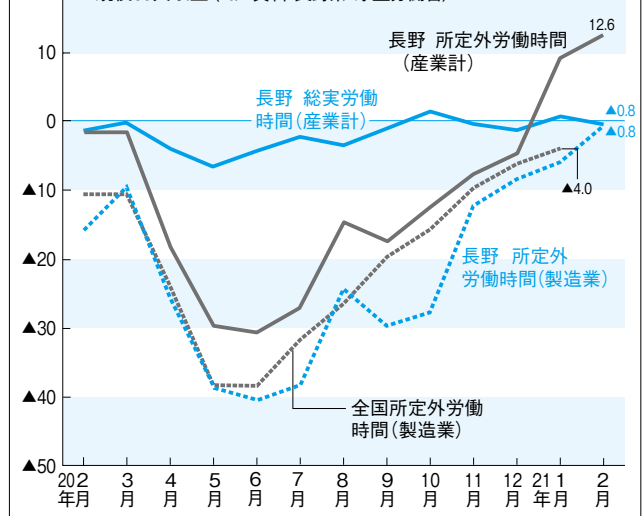
★4月から原材料などの価格上昇が目立つようになった。しかし現在のコロナ禍では商品価格への転嫁のタイミングが難しいところである。(農産物加工)

☆★電子部品は受注が旺盛だが、銅材不足が深刻で、受注消化のできない状態が続きそうだ。(電子部品)

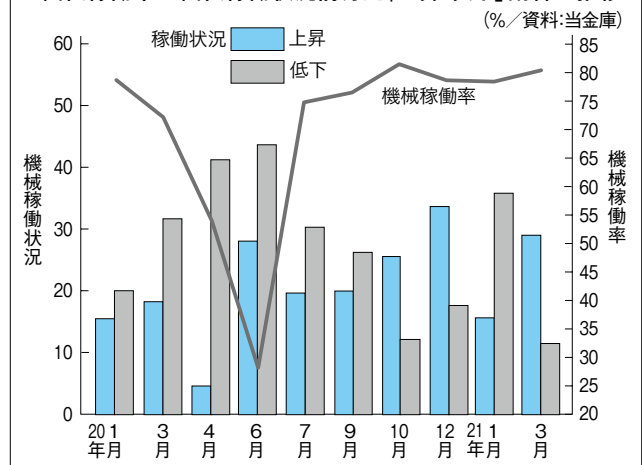
☆★輸送用機器部品は比較的安定している。しかしほかの受注はコロナ禍で減少している。(機械部品)

●長野県の労働時間の動き<前年同月比>

規模30人以上(％/資料:長野県・厚生労働省)



●機械稼働率と機械稼働状況前月比「上昇・低下」割合の推移(％/資料:当金庫)



建設業

総合建設、土木工事、建築、各種設備

「施工高」総合建設は増加するも、全体は減少

概 況

建設業の施工高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(34%)が2ポイント増加、「減少」割合(37%)が10ポイント増加、「不変」割合(29%)が12ポイント減少、全体としては減少の状況です。

●施工高前年比「増加・減少」割合(%)

建設業	前回	32.2	40.7	27.1
	今回	増加 33.9	不変 29.0	減少 37.1
総合建設業		54.5	27.3	18.2
土木工事業		41.7	25.0	33.3
建築業		23.8	47.6	28.6
各種設備業	10.0	10.0	80.0	

〔業種別〕 増加…総合建設

横ばい…土木工事

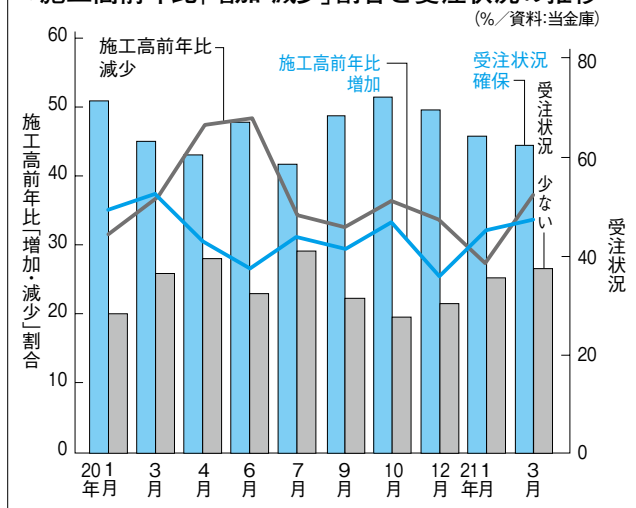
減少…建築・各種設備

〔受注状況〕 受注残高(前回比) 減少

「多い・適正」割合 (64%) → 62%

「少ない」割合 (36%) → 38%

●施工高前年比「増加・減少」割合と受注状況の推移



企業からのコメント

☆★コロナ禍の民間受注は、今までの営業手法では全く通用しない。考査を重ねて営業するようにしている。

★顧客の発注意欲や決断にも、延期や見合わせ、規模縮小などの影響が始まっている。(以上総合建設)

☆★4月以降は徐々に仕事が増え、秋以降も期待が出来る。しかし材料費は上昇しているのに、競争激化で加工費は下がっている状況が続いている。(鉄筋工事)

4～3月の公共工事 (東日本建設業保証取分)

長野県の4～3月の発注合計は、2,622.4億円(前年同期比+25.8%)となりました。「国」の488.9億円(同+33.3%)、「県」の883.8億円(同+27.6%)、「市町村」の745.0億円(同+3.6%)、「そのほか」の493.8億円(同+63.6%)で、すべてプラスでした。

北信地区市町村の発注合計は213.2億円(同▲12.5%)で、うち長野市は113.6億円(同▲17.4%)でした。

●建設業保証取分から見た長野県と北信地区市町村の公共工事の状況(2021年3月/2020年4月～2021年3月累計)

(単位=百万円/資料:東日本建設業保証株)

		2021年3月	前年同月比	2020年4月～2021年3月	前年同期比
長野県	国	5,442	▲16.5%	48,889	33.3%
	県	6,765	▲30.6%	88,380	27.6%
	市町村	2,655	▲54.1%	74,501	3.6%
	そのほか	973	▲76.0%	49,380	63.6%
	合計	15,835	▲39.3%	262,237	25.8%
北信地区	市町村	891	▲55.7%	21,318	▲12.5%
	(内長野市)	372	▲59.2%	11,364	▲17.4%

4～3月の新設住宅着工戸数

長野県の4～3月の新設住宅着工戸数は12,152戸(前年同月比▲2.2%)でした。持家が6,673戸(同▲2.8%)、貸家が3,279戸(同▲12.9%)、分譲が1,937戸(同+8.6%)、給与が263戸(同+2,530.0%)です。

北信地区の4～3月の新設住宅着工戸数は3,339戸(同▲4.7%)でした。持家が1,812戸(同▲5.1%)、貸家が919戸(同▲6.2%)、分譲が596戸(同▲2.8%)、給与が12戸(同1,100.0%)です。

●北信地区と長野県の新設住宅着工戸数

(2021年3月/2020年4月～2021年3月累計) (資料:長野県)

		持家	貸家	分譲	給与	合計
北信地区	3月	139戸	89戸	83戸	0戸	311戸
	(内長野市)	96戸	89戸	68戸	0戸	253戸
	前年同月比	10.3%	23.6%	130.6%	—	32.9%
	(内長野市)	18.5%	147.2%	142.9%	—	74.5%
	4～3月	1,812戸	919戸	596戸	12戸	3,339戸
	前年同期比	▲5.1%	▲6.2%	▲2.8%	1100.0%	▲4.7%
長野県	3月	562戸	208戸	192戸	0戸	962戸
	前年同月比	15.6%	▲21.5%	57.4%	—	10.2%
	4～3月	6,673戸	3,279戸	1,937戸	263戸	12,152戸
	前年同期比	▲2.8%	▲12.9%	8.6%	2,530.0%	▲2.2%

卸小売業

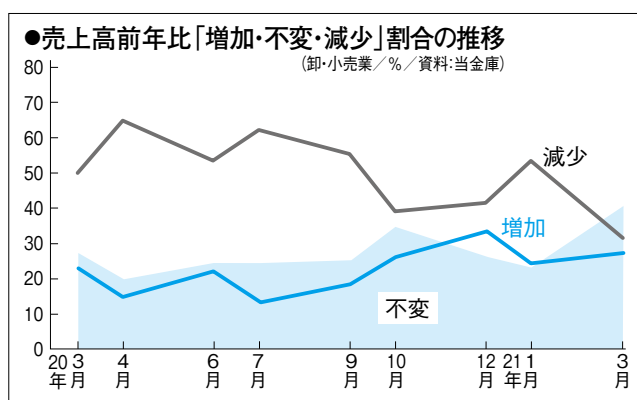
卸売業、小売業

「売上高」卸売・小売ともに増加

卸小売業の売上高前年比「増加・減少」割合は、前回に比べ「増加」割合(27%)が4ポイント増加し、「減少」割合(32%)が22ポイント減少、「不変」割合(41%)が18ポイント増加し、全体として売上は増加の状況です。

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

卸小売業	前回	23.3	23.2	53.5
	今回	増加 27.3	不変 40.9	減少 31.8
卸 売 業		27.8	44.4	27.8
小 売 業		26.9	38.5	34.6



〔業 種 別〕 増加…卸売業・小売業

3月の消費者物価指数(長野市) 2015年基準=100

◇総合指数(確報値)……102.7(6カ月連続マイナス)
(前月比+0.2%、前年同月比▲0.5%)

上昇…「被服及び履物」「光熱・水道」「交通・通信」
下落…「食料」「家具・家事用品」

◇生鮮食品を除く総合指数…102.6(6カ月連続マイナス)
(前月比+0.3%、前年同月比▲0.5%)

企業からのコメント

- ★生産量が激減して、商品の供給が今まで通りにならない状況。この先が心配でならない。(鉢花卸)
- ☆★法人への車両販売と整備売上は、コロナ前の水準近くまで回復している。ただし、個人への販売はコロナの第4波の影響なのか、低調な状況。(自動車)
- ★新型コロナ禍の規制解除後、人出による購買に期待をしたが低調だった。長野は、警戒レベル5になって敬遠されがちである。(土産品)
- ★コロナの影響が長引き、来店客が少ない。売り出しやイベントも縮小ぎみになっている。(家電)

サービス業

サービス、輸送、外食、観光、不動産

「売上高」サービス・輸送・外食ともに増加

サービス業 売上高前年比「増加」割合は50ポイント増加の50%、「減少」割合は50ポイント減少の25%、「不変」割合は横ばいの25%と、売上は増加の状況です。

輸送業 売上高前年比「増加」割合は横ばいの10%、「減少」割合は10ポイント減少の50%、「不変」割合は10ポイント増加の40%と、売上は増加の状況。タクシーは横ばい、運輸は増加です。

外食業 売上高前年比「増加」割合は10ポイント増加の20%、「減少」割合は20ポイント減少の70%、「不変」割合は10ポイント増加の10%と、売上は増加の状況です。

観光(旅館)業 入込数は平均で前月比43ポイントの増加、前年同月比も5ポイントの増加で、宿泊利用は伸びています。

不動産業 需給状況は前回に比べ、「双方手控え・どちらも低調」は22ポイント減少の42%、「引合いやや増加」は8ポイント増加の8%でした。

企業からのコメント

- ★「標準的な運賃」確保のために値上げに動きたいが、コロナ禍でむしろ運賃値下げの動きもあり、業界全体としては厳しい面もある。また、燃料が1ℓあたり9~10円値上がりし収益への影響大。
- ★引越の最繁忙期だが、コロナ禍の影響で受注数が少なく、単身の移転が多い。(以上トラック輸送)
- ★春休みに山ノ内方面の温泉場に自家用車で来る客が多く、タクシー利用には結びつかない。(タクシー)

●売上高前年比「増加・減少」割合(%)

サービス業	前回	-0.0	25.0	75.0
	今回	増加 50.0	不変 25.0	減少 25.0
輸送業	前回	10.0	30.0	60.0
	今回	10.0	40.0	50.0
うちタクシー業		0.0	0.0	100.0
うち運送業		14.3	57.1	28.6
外食業	前回	10.0	0.0	90.0
	今回	20.0	10.0	70.0

支援策の利用状況 「利用した」73% 「利用しない」17%

利用した支援策 「持続化給付金」67% 「民間金融機関による融資」59%
「雇用調整助成金」36%

支援策の利用状況 「利用した」が7割強、「利用しない」が2割弱で、「将来的に利用する可能性あり」は1割弱でした。

利用した支援策 「持続化給付金」をトップに、「民間金融機関による実質無利子・無担保融資」、「雇用調整助成金」、「政府系金融機関による実質無利子・無担保融資」が主体となっています。

支援策の利用状況

「利用した」73%

「利用しない」17%

「将来的に利用する可能性あり」7%

「新型コロナウイルスの対策として、国・地方自治体・金融機関などの支援策を利用したか」を聞きました。「利用した」は73%、「利用しない」は17%で、「将来的に利用する可能性あり」は7%でした。

従業員規模で見ると、「利用した」はともに73%ですが、「利用しない」は、30人未満15%、30人以上22%で、「将来的に利用する可能性あり」は30人

未満7%、30人以上6%となっています。

業種別

「利用した」……製造79%～卸小売64%

「利用しない」…卸小売24%～サービス11%

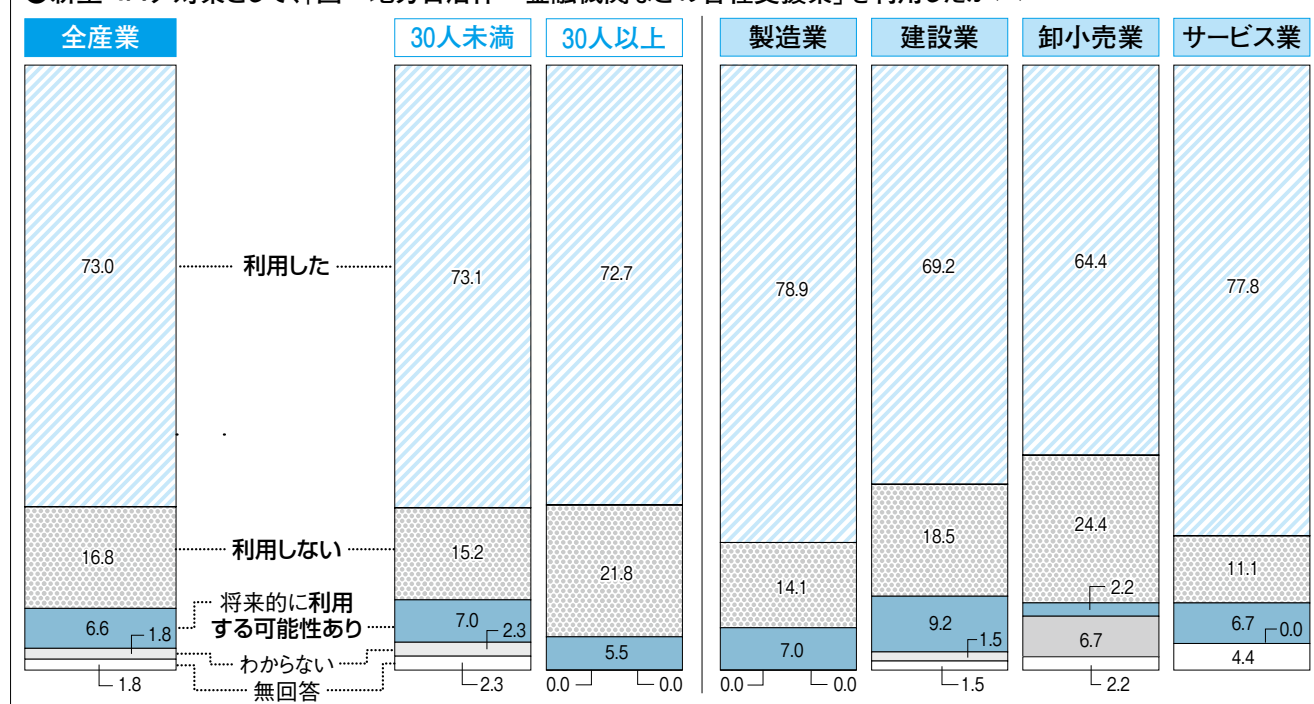
製造業 「利用した」(79%)は他業種に比べ最も高く、「将来的に利用する可能性あり」(7%)は2位となりました。

建設業 「利用した」(69%)は3位ですが、「将来的に利用する可能性あり」(9%)は1位となっています。

卸小売業 「利用しない」(24%)は他業種に比べ最も高く、「利用した」(64%)と「将来的に利用する可能性あり」(2%)は他業種に比べ最も低くなりました。

サービス業 「利用した」(78%)は1割差の2位、「利用しない」(11%)は最も低い4位で、「将来的に利用する可能性あり」(7%)は3位となっています。

●新型コロナ対策として、「国・地方自治体・金融機関などの各種支援策」を利用したか(%)



利用した支援策

「持続化給付金」67%

「民間金融機関による

実質無利子・無担保融資」59%

「雇用調整助成金」36%

「政府系金融機関による

実質無利子・無担保融資」24%

「利用した支援策は何か」を聞きました。

1位は「持続化給付金」(67%)で、2位「民間金

融機関による実質無利子・無担保融資」(59%)、3位「雇用調整助成金」(36%)、4位「政府系金融機関による実質無利子・無担保融資」(24%)、5位「家賃支援給付金」(15%)、6位「金融債務の返済繰り延べ・借入条件変更など」(14%)となっています。

従業員規模で比べると、30人未満は「持続化給付金」(73%)が30人以上より23.6%高くなっています。30人以上は、そのほかの5項目で30人以下より軒並み12~29%高くなっています。

業種別

「持続化給付金」サービス 83%

「民間金融機関による

実質無利子・無担保融資」卸小売69%

「雇用調整助成金」製造55%

「政府系金融機関による

実質無利子・無担保融資」サービス37%

「家賃支援給付金」サービス40%

「金融債務の返済繰り延べ・

借入条件変更等」サービス29%

製造業 「雇用調整助成金」(55%)は他業種に比べ最も高く、「持続化給付金」(59%)と「民間金融機関による実質無利子・無担保融資」(55%)は他業種に比べ最も低くなっています。

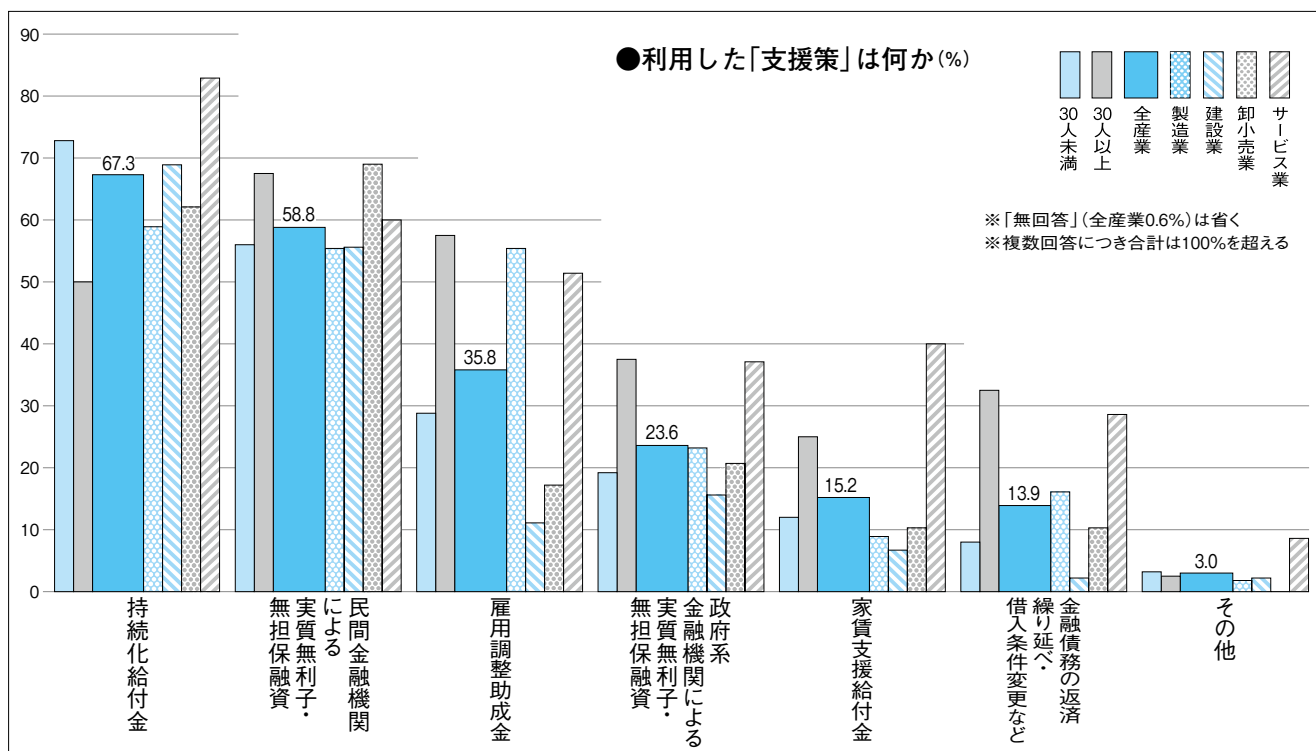
建設業 「持続化給付金」(69%)はサービス業に

次いで高いのですが、「民間金融機関による実質無利子・無担保融資」(3位)以外は軒並み4位となりました。

卸小売業 「民間金融機関による実質無利子・無担保融資」(69%)は他業種に比べ最も高く、「家賃支援給付金」(10%)は2位ですが、他は軒並み3位となっています。

サービス業 「持続化給付金」(83%)、「家賃支援給付金」(40%)、「政府系金融機関による実質無利子・無担保融資」(37%)、「金融債務の返済繰り延べ・借入条件変更など」(29%)が1位で、「民間金融機関による実質無利子・無担保融資」(60%)と「雇用調整助成金」(51%)は2位となりました。

◇次号は「新型コロナウイルス対策として一番必要なものは何か」を予定





“先人のセンスや技術”を大切に作る心を広めたい

片付け本舗
株式会社 浄福堂

代表取締役 西村敏郎さま

●設立の経緯をお聞かせください…

私は30年ほど前、大手電子機器メーカーの協力工場で営業職に就いていました。ちょうどバブルの時期でしたが、業界にも新しい技術が入って来て、いずれは業績も頭打ちになるだろうという思いと、メディアで盛んに日本が迎える高齢化社会の特集していたことから会社に「介護用品を扱う、シルバー事業部を立ち上げる」という企画書を提出しました。しかし聞き入れてもらえなかった事から脱サラを決意、1987(昭和62)年に独立して「補聴器」の販売を始めました。

補聴器は高額商品で、お客様と信頼関係がないと購入してもらえません。当初はメーカーや販売先も分からず随分苦労しました。自分の勘を信じるしかないと思いましたが、JAの指定業者になることで販路が確立され、売れ行きは好調になりました。しかし、条件面で折り合いがつかず、5年で契約を解除し自分の店をオープンしました。

開店にあたり内装を検討した際、客層に合わせ骨董品をディスプレイすることを思いつきました。私の母が茶道を教えていて、物心がついた頃から一緒に骨董店に出入りしていたこともあって私自身も古い物が好きでした。所有しているコレクションを並べて、来店客に楽しんでもらう憩いのスペースを設けました。そうすると来店する補聴器のお客さんに、古美術や骨董の買取りや販売の仕事が発生したことから、2011(平成23)年に古美術・骨董品販売業の「浄福堂」を設立したわけです。

古美術や骨董品の仕事が忙しくなってくると、骨董の買取りが増加してきました。しかし買取りといっても、依頼先を訪問し数ある品を見せてい

ただいた中で、実際、私が欲しいのものは2・3点だけという場合がほとんどです。残りはそのままと言うと、お客様から「残った物はお金を払うから処分してほしい」との依頼が多くなり、2016(平成28)年に、長野市の認可を取得し「片付け本舗」の事業を始めました。

●「片付け本舗」事業とは何でしょうか…

開業当時は、便利屋さんにはありましたが、部屋の片付け専門会社は当地にはありませんでした。当社は一般家庭の片付け専門で、飲食店などの業務用の片付けは分野が違うため行っていません。また、最近、「高濃度オゾン洗浄」で部屋の中のウイルスを殺菌する作業も実施しています。部屋の片付けにも様々なケースがあります。ペット臭のきつい部屋とか、“孤独死”の部屋の片づけにはオゾン洗浄が不可欠です。最近、この「高濃度オゾン」が新型コロナウイルスを不活化するというデータが新聞報道され、問い合わせも増えています。

オゾンは気体ですから、空気中およびモノに付いた匂い、特に布製品の洗浄も出来ます。薬剤を使わないので、人間や動物に害が残ることはありません。作業時間は50平米で1時間ほど、価格は3万円からです。

●コロナ禍の影響や対応をお聞きします…

当初は、外部の人間を自宅に招き入れたくないとの思いから、一時的に依頼は減少しました。しかし半年ほど経ちコロナ禍での“巣ごもり生活”も長くなり、“断捨離”がブームとなりました。最近は1軒丸ごとの仕事というよりも、ベッドやタンスなどの処分依頼が増加しています。また、コロナ発生から1年以上が経ちますが、長野市では、“空き家バンク”に登録して、部屋の中の物を片付けた場合、上限15万、見積もり額の75%の補助が決まりました。こういった背景から片付けの仕事がどんどん増えてくるものと思います。

●今後の夢や方針などをお聞かせください…

現在、当社は「補聴器の販売・調整」と「古美術・

骨董の買取りおよび販売」「片付け」の3事業を展開しています。

片付け事業は、今後も、亡くなられた方の財産処分などの仕事が増えてくると思います。広告はしていませんが、口コミで広がり、この部門の仕事は軌道に乗っています。こんなことから夢は古美術部門の拡大にあります。

一般の方は、お持ちの古美術がどのくらいの価値か分からないのですが、長野県にはお宝がまだまだ数多く眠っています。

昨年からテレビ信州さんの夕方の情報番組「ゆうがたGet!」で骨董品の「鑑定コーナー」の監修ならびに鑑定の仕事をしています。今年1月に「徳川家光」の描いた掛け軸が、番組内で見つかり全国ニュースにもなり話題となりました。その時に思ったのですが、不要だからといって何でも捨てるのではなく、古美術の古の制作者のセンスや技術を見直し、こんな良い物を作ってくれているという眼で見て欲しいと思います。処分を考えている中には、歴史的に重要な物があつたりもします。来店者は知らずに、お金になればということで売ってしまうのですが、「重要なものですから、大切にしてください」とお伝えしたいと思っています。

当社は、どんな買取り依頼も指名していただいている限りお断りしません。二束三文になるかもしれないかもしれませんが買い取ります。しかしその行き場所

がなかったのです。そんなとき、東京の骨董市場の視察で学んだのですが、壊れたギターも1000円ぐらいで買い取りをしていました。「買ってどうするのですか」と聞くと、音楽関係の飲食店でネックをディスプレイとして使ったり、ドアの取っ手に利用するというニーズがあるとのことでした。ボディは割れて楽器として使うことが出来ないから捨てるのではなく、様々な使い方があって、活用の道があるのだなということを、改めてその市場で知りました。

古美術に限らず、遺品の中には大切なものがあると思います。私たちの仕事は片付けることですが、依頼主の依頼があれば、全て処分もいたします。しかし、所有者が大切にされていた物は、処分する前に、どういう思い出があるのかを知っていただけるようなお手伝いをしていければと考えています。



番組の中で見つかった「徳川家光」の掛け軸



店舗外観

●事業の概要

設立 1987(昭和62)年
資本金 100万円
代表者 西村 敏郎
業務 一般家庭の片付け業務
事業所 長野市柳町72番1

●沿革

1987(昭和62)年 補聴器販売、イベント企画運営会社としてニッショーサプライ(株)を設立
2002(平成14)年 イベント(ブライダル)部門に特化した(株)プレスカンパニーを設立
2011(平成23)年 古美術品、骨董品販売業の浄福堂を設立
2016(平成28)年 一般廃棄物収集運搬許可(長野市認定)を取得して片付け業務を開始

北信濃 江戸時代の風景

(81) 善光寺境内

長野郷土史研究会会長
小林 一郎



今年度は、江戸時代に善光寺門前で売られていた観光案内図「信州川中嶋古跡順道手引草之図」を、少しずつ切り取って紹介します。

町

善光寺の入口から仲見世までの区域です。下(南)東西の通りは、右端に「横町」、左に「西横町」と書かれています。「横町」は現在もありますが、「西横町」は現在はなく、大門町の一部となっています。南北の通りは、東に「東之門町」が、西に「西ノ門町」(西之門町)があって、現在と変わっていません。

東側の宿坊

宿坊は両側(東西)に描かれています。右上には「坊十一ヶ寺」があります。これは釈迦堂通りの宿坊で、現在も北から、福生院、吉祥院、教授院、常智院、尊勝院、蓮華院、世尊院、常住院、威徳

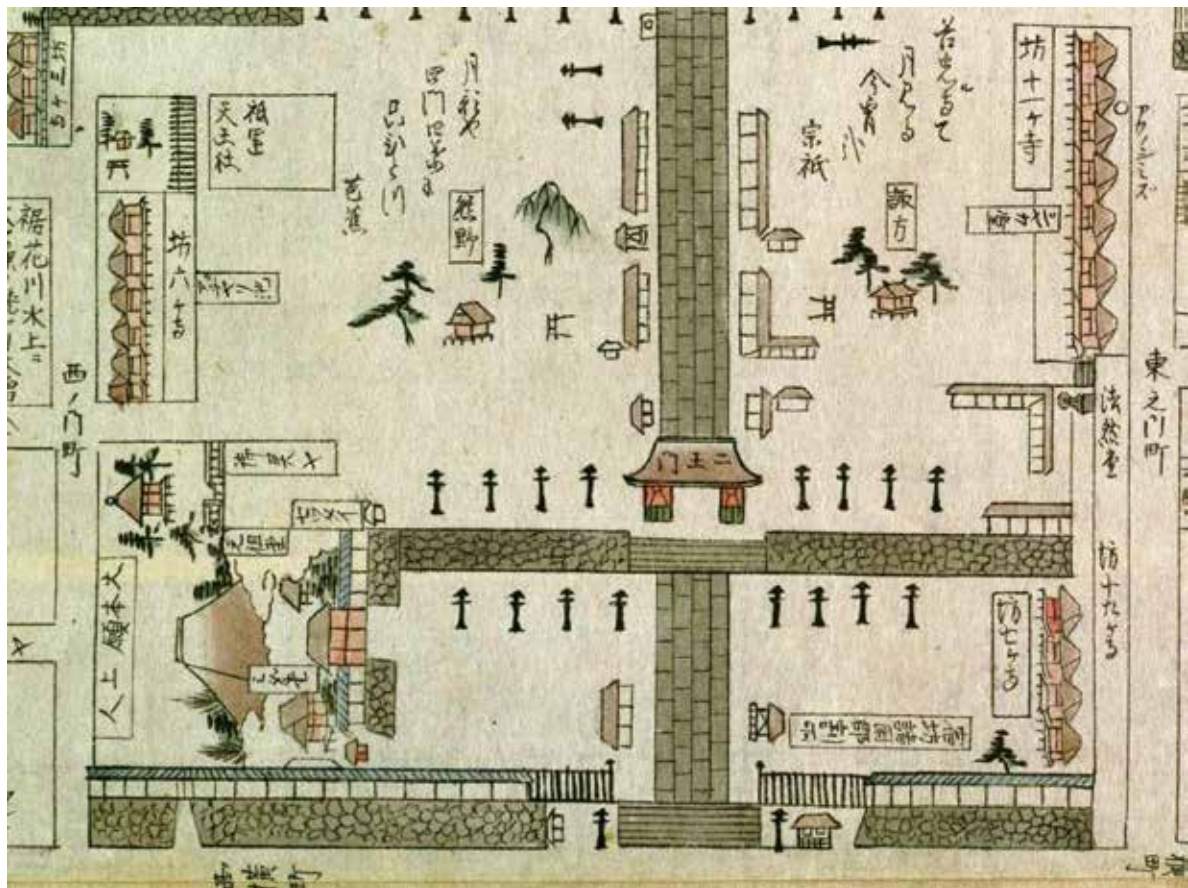
院、円乗院、玉照院の11寺が建ち並んでいて、江戸時代と変わっていないことが分かります。その中央にあるのが釈迦涅槃像をまつる「シヤカ堂」(釈迦堂)で、世尊院にあります。

「アカノシミズ」(垢ノ清水)は善光寺七清水の1つで、「弘法大師硯水」とも呼ばれていました。弘法大師が滞在したとされる、弘法大師を本尊とする吉祥院の、裏あたりにあったのでしょうか。

右下には「坊十九ヶ寺」と「坊七ヶ寺」があります。「坊十九ヶ寺」は法然小路(法然通り)にある宿坊で、現在は正信坊(法然堂)、浄願坊、向仏坊、鏡善坊、野村坊、徳行坊、常行院、甚妙院、玄証院、善行院、寿量院、随行坊の12寺しかありませんから、明治以後7寺が廃寺になったことが分かります。

「坊七ヶ寺」は参道に面した宿坊で、現在も堂照坊、堂明坊、白蓮坊、正智坊、兄部坊、淵之坊、

「信州川中嶋古跡順道手引草之図」の一部(国立国会図書館蔵「扶桑探勝図」より)



常円坊の7寺がそのまま建ち並んでいます。

西側の宿坊

西側には「坊六ヶ寺」があります。これは阿闍梨池通りにある宿坊で、現在も最勝院、徳寿院、本覚院、長養院、宝林院、良性院の6寺があります。ただし江戸時代には、宝林院の位置に宝勝院がありました。「アヂヤリ池」(阿闍梨池)は本覚院にある名所で、善光寺七池の1つです。

北西(左上)の「坊三ヶ寺」は、薬王院、光明院、常德院で、現在と変わっていません。

入口から仁王門まで

善光寺の入口には、右側に小屋のようなものが描かれています。これは触れなどを掲示する高札場です。現在はその位置に、長野市道路元標があります。

入口の石段(現在は坂道)を上ると、右側に「宿坊諸国郡割所」があります。これは宿坊の案内所です。善光寺へやって来る参拝者は、持郡もちごおりといって、宿泊する宿坊が全国の郡ごとに決まっています。そのため参拝者は、この案内所で宿泊する宿坊を尋ねる必要があったのです。

大本願

左側に「大本願上人」と書いてあります。ここには、弘化4年(1847)の善光寺地震で焼失する以前の大本願が描かれています。閉ざされた門の中に、「ミダ堂」(弥陀堂)、「元祖堂」、「御霊屋」(御霊屋)などがあります。御霊屋は、江戸幕府の将軍の位牌をまつっていた堂です。

「セツタイ」(接待)は、参拝者の接待所で、大本願の施設ではありません。

堂庭

「二王門」は、宝暦2年(1752)に建立されましたが、やはり弘化4年(1847)の善光寺地震で焼失してしまいました。

仲見世の場所には、敷石に沿って店の仮屋が並んでいるだけで、現在のような2階建ての永久建



高札場跡にある長野市道路元標

築は許可されていませんでした。そのため店の裏は広く空いていて、御開帳には芝居や見世物の小屋ができました。

ここは現在の善光寺本堂ができる以前に本堂があった場所で、堂庭どうにわと呼ばれていました。ご本尊が安置されていた場所(松屋旅館前)には現在も堂跡地蔵尊がまつられていて、この図にも描かれています。堂庭は、明治7年(1874)に元善町と改称しました。

東側(右)には「諏方」(諏訪社)、西側には「熊野」(熊野社)がありましたが、現在は合祀されて元善町の熊野神社となっています。

堂庭の北西には、「祇園天王社」が描かれています。これは上西之門町の弥栄神社です。御祭礼と呼ばれる祇園祭は、この神社の祭りです。

善光寺で詠まれた名句

上部に、善光寺で詠まれた宗祇と芭蕉の名句が書かれています。

(右上) 善光ル寺で月見る今宵哉 宗祇

宗祇(1421～1502)は室町時代の連歌師です。

(左上) 月影や四門四葉に只ひとつ 芭蕉

中七は、正しくは「四門四宗も」です。

6月号は「善光寺の北西」の予定です。

●「感染拡大」の原因は何か

「個々人の感染予防対策の緩み」48%

「政府の経済重視政策のため」24% 「空気が乾燥する季節だから」8%

「新型コロナウイルス感染症の第3波が拡大していますが、一番の原因は何にあると思うか」を聞きました。

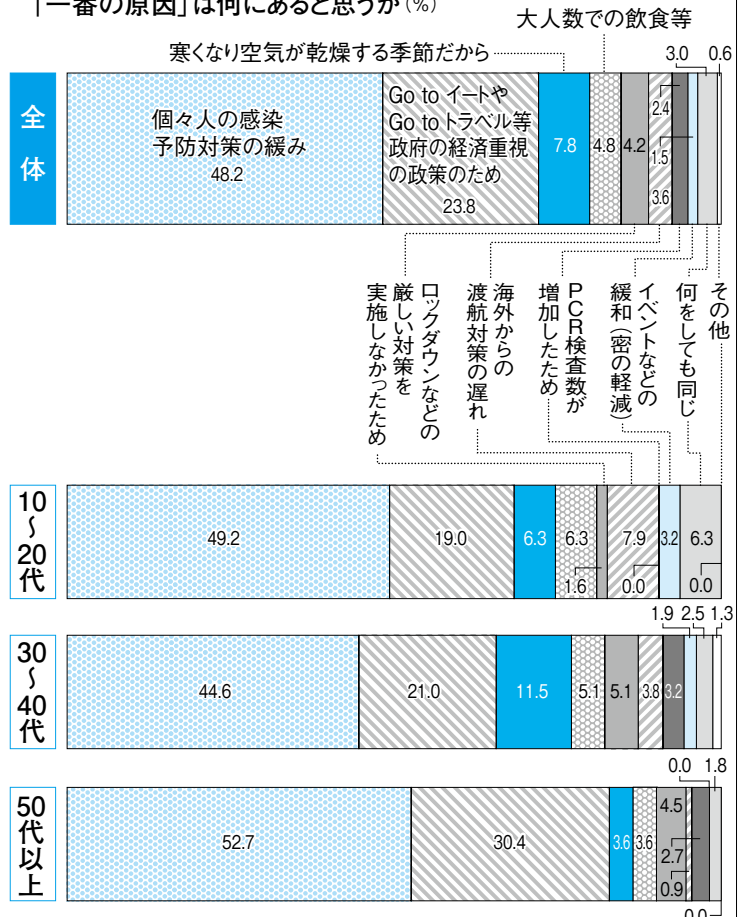
1位は「個々人の感染予防対策の緩み」で48%、2位は「Go to イートやGo to トラベルなど、政府の経済重視の政策のため」で24%を占めています。

次いで「寒くなり空気が乾燥する季節だから」(8%)や「大人数での飲食など」(5%)が続きました。

以下「ロックダウンなど厳しい対策を実施しなかったため」や「海外からの渡航対策の遅れ」「PCR検査が増加したため」「イベントなどの緩和(密の軽減)」「何をしても同じ」が4~2%となっています。

〈当金庫・2021年3月調査〉

●新型コロナウイルス感染症の第3波が拡大していますが、「一番の原因」は何にあると思うか(%)



●みなさまの税務相談のご案内 [6月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日	午前	午後	開催日	午前	午後
6月 2日 水	若槻支店 (城北支店)	東長野支店 (柳原支店)	6月 17日 木	権堂支店 (善光寺下支店)	川中島支店 (川中島駅前支店)
4日 金	稲荷山支店 (屋代支店)	上山田支店 (戸倉支店・坂城支店)	18日 金	篠ノ井支店 (川柳支店)	松代支店 (更北支店)
8日 火	長池支店 (大豆島支店)		22日 火	本店営業部	古里支店 (吉田支店)
9日 水	須坂支店 (墨坂支店・太子町支店)	豊野支店	24日 木	大門町支店 (桜枝町支店)	飯綱支店
11日 金	石堂支店 (伊勢宮支店)	七瀬支店 (南支店)	25日 金	本部	
14日 月	中野支店 (小布施支店)	山ノ内支店 (飯山支店)	29日 火	本部	



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町 133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

